

伊万里市の特徴や誇れるもの

- ・伊万里焼で知られる焼き物の里である。
- ・江戸時代、鍋島藩の御用窯が置かれていた大川内山おおかわうちやまがあり、秘窯ひようの里として、今もなお30の窯元がある。
- ・国内有数の黒曜石原産地である腰岳遺跡群や国の天然記念物に指定された「伊万里湾カブトガニ繁殖地」がある。
- ・秋には、日本三大けんか祭りと呼ばれるトンテントン祭りが行われ、勇壮な合戦絵巻を繰り広げている。
- ・「エンゼル・マーク」を商標とする製菓会社をおこし、製菓王と呼ばれた森永太郎の出身地である。
- ・最高位を受賞した伊万里牛、西日本有数の生産量と品質を誇る伊万里梨が特産物である。



教育委員会所在地：伊万里市立花町1355番地1

連絡先：0955-23-3185

学校数：小学校 13校、中学校 6校
義務教育学校 1校



いまりんモーもちゃん

松浦小学校の取組

松浦小学校では、3年生の総合的な学習の時間に、自分たちが住む「松浦町」について調べている。

9月には地域の方を講師に招き、松浦町の自然や産業、行事について教えていただいた。特に「縄切り」と「牛洗い」で、故郷の魅力を知る機会となった。また、11月には水利施設である「馬の頭」を見学した。江戸時代に築かれた施設が今も大切に守られ、地域の農業を支えていることを学んだ。これらで学んだことは、故郷の誇れる宝として、来年度統合する大川小学校とのオンライン交流会で紹介した。これらの学習を通して、松浦町の事を知り、これからも故郷を大切にしていきたいという思いをもつことができた。

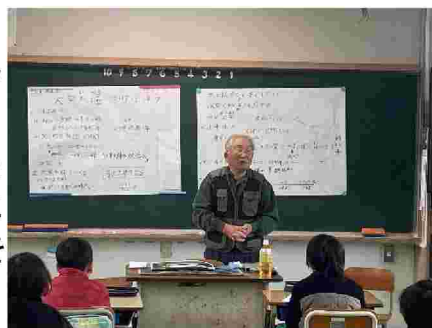


【馬の頭を見学する様子】

大川小学校の取組

大川小では、4年生が総合的な学習の時間に、松浦川にある大黒井堰について学習している。地域講師を招いて、実際に現地学習をし、その後地域の疎水について学んでいる。

また、大川町の地形や気候との関連を教えてもらい、米の収穫量を増やすために大黒井堰が作られた経緯を学んだ。児童は、郷土の開発のために知恵を出し、時間と労力を使って作り上げられていることに感動していた。多くの先人が河川工事にに関わり、大川町のために尽力したことを知り、地域の歴史に興味・関心を深め、これからの大川町を担っていく意欲を高めることができている。



青嶺中校区の取組

黒川小・波多津小・青嶺中では、3校合同による「はたらく人プロジェクトin青嶺中校区」を今年度より始めた。小5～中3までの児童生徒が、38企業の職業人から心揺さぶられる熱い話を聴くことができた。

子どもたちは「働くこと」の意味や意義に気づき、新しい発見に目を輝かせ、将来の自身の姿に思いを巡らせていた。

今後の進路について深く考えるきっかけとなっただけでなく、県内や地域に暮らす人々とのつながりにも気づくことができたあつという間の2時間の授業となった。

地域の大人が地域の子どもの成長に寄り添い見守っていくことで、その思いが子どもたちにも引き継がれていく、そのようなプロジェクトに発展していくよう、今後も地域の力をお借りしながら、3校で力を合わせて取り組んでいきたい。



【はたらく人プロジェクト】